



ふるさと上越ネットワークたより

編集・発行 ふるさと上越ネットワーク事務局

〒101-0064 東京都千代田区神田猿樂町 2-1-2

TEL.03-5244-5138 FAX.03-3294-6106

●本庁担当:上越市自治・市民環境部 共生まちづくり課

〒943-8601 新潟県上越市木田1-1-3

TEL.025-526-5111 (内線1406) FAX.025-526-6114

ホームページ⇒

ふるさと上越



ブルーインパルス展示飛行「サクラ」 撮影:小坂恵美さん

「たより」No.278 目次

会員数とふるさと市場報告	1
Jネットの活動とお知らせ	2
とれたて上越	3
・上越の行事・展示会・ミニ話題上越	
いにしえ上越	5
上杉謙信公と鮫ヶ尾城(その2) 妙高市学芸員 佐藤 慎	
鯉橋師匠高座予定	6
上越産品販売のお知らせ	6
会員ひろば	6
ふるさとを想い 父母を偲ぶ 大坪 満男	
ふるさとのお菓子・水ようかん 祖父江ひろみ	
Jネットからのお知らせとお願い	8

※ホームページ
「ふるさと上越ネットワーク」では、
「たより」を全ページカラーでご覧
いただけます。

会員数と「ふるさと市場」販売報告

(1) 会員は601名(4月20日現在)です。(令和4年度目標610名)

(2) 「ふるさと市場」の販売取次状況(令和4年3月) 128点 224,107円 (前年同月 107件 163,884円)

Jネットの活動とお知らせ

1. 令和4年3月10日（木）、4月14日（木）にサロン開催

次回は、令和4年5月12日（木）、その次は6月9日（木）。ぜひご参加下さい。

コロナ禍感染の高止まりに加えて、ロシアのウクライナ侵攻という憂鬱なでき事が続く中、3月・4月とサロンが、オンラインで開催されました。

T会員より、平和の祭典「東京五輪」の運営に参画した話あり、57年の時を隔てて2度の東京五輪の運営に携わったのはT会員ただ一人で皆さん感嘆。高田の桜やブルーインパルス飛行を愛で、墓参りやお孫さんとの帰郷、上越・妙高タウン情報、ゴルフやボーカル教室、俳句などの趣味、歩きの健康法、話題の美術展など、話は盛りだくさん。時間も30分近くオーバーしお開きとなったときには、すっかり、酔いが回っていました。



3月10日、4月14日 運営委員会とオンラインサロンへ参加のみなさん

【次回以降のサロン】

サロンは、毎月第2木曜日に開催、全国どこからでも参加でき、アルコール片手に、中座も自由、勝手なことを勝手に言える集まりです。ご参加大歓迎。

次回：令和4年5月12日（木）、6月9日（木）。いずれも17：15－19：00。

（オンラインにて開催）。お申込み：事務局宮里 k.miyazato@araipt.co.jp まで。URLをお届けします。ご参加は超簡単、届いたURLクリック2回で参加できます。未体験者には、事前に操作方法もお手伝いしますのでお気軽にご参加ください。

【実際のサロンの再開】

目下、検討中です。ご意見を頂戴できれば幸いです。再開は、「たより」、HP（ホームページ）をご覧ください。事務局にお問合せください。

2. 令和4年度年次総会は書面開催

コロナ禍の現状に鑑み、本年度の年次総会は、3年続けて、書面開催とします。まことに残念ですが、ご了承ください。「たより」6月10日号にて総会資料と表決票を同封し、会員の皆様のご決議を仰ぎます。

3. 是非とも、ご寄稿ください。— 当会創立25周年「たより」特別号への寄稿

当会は1997年7月30日に創立、本年は、創立25周年を迎えます。その記念事業として「たより」特別号を発行します。会員の皆様にも、「会とご自身のこと、上越について思い出や想いなど」をふるってご寄稿いただきますよう、お願いいたします。寄稿の要領の詳細は、同封のお知らせをご覧ください。

4. いま旬のホームページ（HP）をご覧ください。

おかげさまで、Jネット HP の閲覧は、国内、海外を合わせて大きく増えております。内容も、上越市の四季の写真他、次のように掲載は多様です。ぜひとも、「ふるさと上越ネットワーク」を検索し、ご覧ください。

- ・お知らせ：上越関連 TV 放映や、上越産品販売のマルシェと雪國商店などの話題。
- ・チャレンジ上越、とれたて・なんでも上越：「たより」掲載の上越記事など。
- ・「たより」：全頁カラーで過去 2 年分を掲載。・フォトギャラリー：上越の四季の写真多数。
- ・他HPへのリンク：上越市、上越観光ナビ、当会特別賛助会員 7 社のHP。

Jネット会員は、上越タイムス電子版ならびに上越ケーブルビジョン（JCV）の動画を閲覧できます。上越妙高エリアの今をお楽しみください。

◎上越タイムス電子版、上越ケーブルビジョンへのアクセス方法（会員のみ）

- ① HP右肩「Jネット会員メニュー」をクリック
- ② 「ログインはこちら」をクリックし各社のHPへ
- ③ 下記のID・メールアドレス・PSWにてログインしてください



「上越タイムス全頁を閲覧する場合は、同紙面から、PDFをクリックしてください。」

とれたて上越

1. 上越の行事・展示会

(1) 生誕 100 年 富岡惣一郎展 「白、追い求めて」

小林古徑記念美術館（高田城址公園内）

上越市出身の洋画家、富岡惣一郎の生誕 100 年を記念して、60 点にのぼる同館所蔵の富岡作品の中から、初期から晩年に至るまでの画業をたどるとともに、上越市役所や公共施設の中に息づく富岡芸術もあわせて紹介します。

期間：6月19日（日）まで。開館時間 9:00～17:00.

(2) キャンプ場などオープン

待ちに待った春の訪れとともにキャンプ場などがオープンします。詳しい情報は、それぞれのホームページでチェックしてください。

① 妙高サンシャイン キャンプ

オープン日：4月28日（木）

会場：妙高サンシャインランド（上越市中郷区江口松ヶ峯温泉 846-1）

内容：妙高の雄大な自然の中にある「天空リゾート」に新たなフィールド。

キャプテンスタッグ社サポートの本格キャンプエリアが今シーズンもオープン

お問合せ：TEL 0255-74-2421（妙高サンシャインリゾート）

② 南葉高原キャンプ場

オープン期間：4月29日（金・祝）～11月3日（木・祝）

内容：テントサイトや宿泊もできる山小屋風バンガローのほか、売店がある南葉ロッジがあります。特に第3キャンプサイトからの眺めは最高です。

※食堂は令和3年度から休止、売店は営業中。

お問合せ：TEL 025-524-9046（南葉高原キャンプ場南葉ロッジ）

③ ヒスイ峡フィッシングパーク

オープン日：4月29日（金・祝）。営業時間：9:00～16:00

場所：糸魚川市小滝 19910-1

内容：川の流れを引き込んだ人工の溪流で、初心者でも気軽に溪流釣りの気分が味わえます。釣り場にはイワナ、ニジマスが泳いでおり、釣りを楽しんだ後は自分で釣った魚をその場で焼いて食べることができます。

お問合せ：TEL025-556-2327（高浪の池高原交流センター）

なお、五智公園ゴーカート、シーサイドパーク名立、上越市海洋フィッシングセンターは、現在営業中です。

2. ミニ話題上越

(1) ブルーインパルス飛行 上越の桜空で演舞

上越市制50周年（昨年）と観桜会を祝して、4月10日、高田城址公園の上空では、航空自衛隊ブルーインパルス6機による展示飛行が行われた。白煙の描く様々な姿に見上げる市民の大歓声が沸いた。

(2) 映画「瞽女 GOZE」 海外4か国で受賞

瀧澤正治監督が20年かけて制作した「映画「瞽女 GOZE」は、一昨年夏に封切られたが、コロナ禍のため、国内での上映もままならなかった。しかし、昨年来、ハワイ、ブラッセル、ハンブルグ、トロントの映画祭で高評価を得て受賞。作品には、上越でも撮影、雁木、棚田、雪原のはさ木などが登場。

(3) 詩画集「妙高 池の平 詩の散歩」 国見修二 詩・画 山本正男

2年前に「瞽女力入門」を著した詩人・国見修二氏は、七宝焼画家・山本正男氏とコラボで、詩画集「妙高 池の平 詩の散歩」を発刊した。妙高の四季の心を詠う詩43篇、それに40枚の七宝焼画があまりにも美しい。手元に置きたい宝物です。

（定価 税込 1300円）

申込は、国見修二宛 k.shunji@snow.plala.or.jp



(4) 高田城址公園観桜会、まずまずの人出

予定より1週間延長した観桜会は、人出は、40万人弱と昨年のほぼ倍。

コロナ禍前の120万人には及ばないものの、前半の開花のズレや後半の雨天、コロナ対策でイベントや出店の制限の中、まずまずの賑わい。週末のブルーインパルス飛行は特に大きなインパクトとなった。

ふるさとの上越には、縄文時代から続く我らがご先祖様たちの営々とした歴史があり、多様性に富んでいます。

今回は、前回の続編「上杉謙信公と鮫ヶ尾城（その2）」をお届けします。
妙高市学芸員の佐藤慎様の専門家の目でもみた鮫ヶ尾城をご覧ください。

上杉謙信公と鮫ヶ尾城（その2）

妙高市教育委員会学芸員

佐藤 慎

謙信公が生きた時代の築城技術を伝える鮫ヶ尾城

鮫ヶ尾城が歴史の表舞台に記録として登場するのは、謙信公の後継者争いとして知られる「御館（おたて）の乱」のときです。

天正6年（1578）3月13日、謙信公が春日山で急死すると、養子であった上杉景虎と上杉景勝が家督をめぐって対立し、いち早く春日山を占拠した景勝と、御館（直江津）に逃れた景虎が越後国内の勢力を二分して争いました。これがのちに御館の乱と呼ばれることになる越後における戦国時代最大の内紛です。

天正7年（1579）3月24日、鮫ヶ尾城はこの合戦の最終決戦の地となります。この日、わずかな手勢で鮫ヶ尾城に立て籠もった景虎は、堀江氏の裏切りによって城に火を放たれ（諸説があります。）、追い詰められた末に自害することになりました。

このときに鮫ヶ尾城も景虎と運命を共にするように焼亡し、そのまま廃城になったと伝えられています。実際に、このことが事実であることを裏付けるように、過去に実施した発掘調査では、激しく焼けた陶磁器の破片や炭化したおにぎりなどが遺跡から数多く出土しています。

御館の乱で廃城となり、その後再利用されることがなかった鮫ヶ尾城は、景虎が自刃した天正7年（1579）の姿を忠実に留めているという点で、この時代の上杉家の築城技術を考える上でたいへん重要な史跡となっています。

続く時代の山城と比べて構造的に未発達な部分が多い鮫ヶ尾城ですが、これが、謙信公が生きた時代の越後の山城の到達点だったのでしょうか。



城下の勝福寺に建つ上杉景虎像



城跡から出土した炭化おにぎり

続日本 100 名城の一つに



スタンプラリー PR ポスター

平成29年（2017）4月6日（しらの日）、50周年を迎えた日本城協会によって「日本100名城」（平成18年2月選定）に続く新たな名城の選定があり、鮫ヶ尾城は高田城とともにこの「続日本100名城」の一つに選ばれました。

この選考にあたっては、①優れた文化財・史跡であること、②著名な歴史の舞台であること、③時代や地域を代表すること、の3つが要件となっていました。鮫ヶ尾城については、①廃城後に改変がなく、戦国時代の山城の構造をよく留めていること、②謙信公没後の上杉家の命運を決めた御館の乱の舞台であること、③謙信公が生きた時代の越後の山城の典型であること、などが高く評価されたといえます。

選定から1年が経過した平成30年（2018）の4月6日には、日本100名城に続いて続日本100名城でも公式スタンプラリーがスタートしました。

こうした新たな取組によって、春日山城、鮫ヶ尾城、高田城の3つのスタンプを一度に集めることができる上越地域は、全国の戦国ファンから一目置かれる歴史スポットになりつつあります。

◇ 5/6(金)～10(火) 上野広小路亭・昼の部

時間：正午～午後4時半 ※鯉橋は午後1時ごろ出演

木戸銭：2000円 主任：桂小南。ほかに南なん、まねき猫など出演。お問合せ：03-3833-1789(広小路亭)

◇ 5/15(日) 梶原いろは亭「なかよしおじさんズ」

時間：午後1時～3時ごろ。

木戸銭：2500円(鯉橋に予約で500円割引)

出演：鯉橋、小助六、夢丸。会場：梶原いろは亭(お問合せ：鯉橋または、03-6322-1622(梶原いろは亭))。

◇ 5/18(水) 七人の侍～流浪の落語勉強会～

時間：午後1時～3時半ごろ 木戸銭：1500円

出演：鯉橋ほか 会場：お江戸日本橋亭(三越前)

◇ 5/24(火) 鯉橋の会 in 日本橋亭 vol.16

時間：午後6時～8時半ごろ 木戸銭：2000円(前・予1500円)

出演：希光、鯉橋、柳好-お仲入り-吉幸、コントD51、鯉橋(以上出演順) 会場：お江戸日本橋亭(三越前)

お問合せ：03-5909-3080(芸協)

プログ～七転び 八起の末の ホンダラダ～ <https://blog.goo.ne.jp/rikyoh3194> もぜひご覧ください。 鯉橋拝

上越産品販売のお知らせ

● Jネットふるさと市場として「取次販売商品一覧」を同封します。

現行の各社パンフに加えて、取次販売商品一覧(A3版1枚)を同封にてお届けします。会員は送料無料でお取り寄せができますので、どうぞご利用ください。

● 上越特産市場

上越市運営による、上越農林水産物・特産品のネットショッピングモール「上越特産市場」です。「上越特産市場 <https://www.joetsu-tokusan.jp/login/input.php>」からご覧いただき、お申込み下さい。

● 新潟・上越妙高「うまさ直送!雪国マルシェ」

恒例の上越特産品販売の「雪国マルシェ」は下記にて予定しています。

日時 5月28日(土)、同29日(日)、
6月25日(土)、同26日(日)

会場 有楽町交通会館1F。開業時間 11:30-17:30

商品内容は決まり次第、JネットHPに掲載します。

● 常設店舗「雪国商店」 場所 有楽町交通会館1F

営業時間 11:00-19:00 年中無休(年末年始は休業)

雪国商店では、少しでもふるさとへ帰った気分を味わっていただくよう、品揃えをしてお待ちしております。ネットで「雪国商店」を検索してご覧ください。

♪お問合せ：JCV 東京情報センター 03(5218)7730

会員ひろば

ふるさとを想い 父母を偲ぶ

大坪満男 上杉村(現・三和区)出身、名古屋在住

小生、昭和12年、上杉村弘沢の山間の11戸の小さな集落の(現在上越市三和区弘沢戸数6戸)農家の五人姉兄妹の二男として生を受ける。

両親は教育には、理解があり、当時は、高校へ進学する子弟が少ない時代だったが、私以外の姉兄妹は高校を卒業している。中学校を卒業の折に、母から名古屋に小僧に行けと・・・

私は、反抗はしたが、父母の苦労もわかっていた。

母は、「おまえは二男だからこの地にもおまえの耕す土地はないから親孝行するつもりで、1年遅く生まれたらと思って、1年行ってどうしても自分に合わないと思ったら帰って来て、高校へ行けば良い」と。自分なりに心を決め、昭和27年3月30日の夜行列車で単身名古屋へ・・・母は体格小さかったが、元気でよく働き、厳しい中でも、心根は優しく育ててくれた。どこからあんなパワーが、合わせて社交性も有って、そんな母が、昭和40年11月64才で逝ってしまった。私の人生で1番つらい痛恨の極みでした。

父は「モクモク」と働き朴訥と生きた人だった。長年、満州までも出稼ぎに行き終戦の1年前に帰郷するが、私が生まれた時も母から「男子が生まれる名前は」と満州に電報を送り、父からは「満男に」との電報が届いたようだ。

私は父に叱られた記憶はほとんどない。ただ小学5年の時に、なんで叱られたか覚えてはいないが、夕方庭の大きな梅の木に縄でしばりつけられ、夜暗くなってからは、母が懇願してくれて縄を解かれた記憶が今でも鮮明に思い出されるが、父の愛だったと想う。その父も昭和47年6月に他界する。現在はふるさとに帰ってもその梅の木はないがその根っこから新しい木が芽吹いている。

何の親孝行もせずに父、母を見送ってしまったが、父、母が逝く前に私の人生の道筋が開けた事と、3人の子供にも恵まれた事の報告が出来たことが、せめてもの親孝行だったのではと、自分勝手に想っています。

父ちゃん、母ちゃん、ほんとうにありがとう。おかげさまで、今有る事に、朝夕、手を合わせ、ただただ感謝です。

名古屋へ出でて70年、その間多くの人々との出会いが有って先輩諸氏からは多くをご教授いただいて、その間、ふるさとの詩「うさぎ追いしかの山、こぶなつりしかの川」を幾度、くちずさんだ事か。お世話になった社会に何の恩返しも出来ませんが、地域のバス停歩道等の草取り清掃と、ふる里の実家から持ち帰った花桃の親樹から苗をつくり人知れずにあちこちに植樹し50年。300本ほど春にはそこかしこで紅色、白色、桃色の3色の花を咲かせてくれる事を願いながら。

私の命は尽きても、花桃は永々として春には花を咲かせてくれる事を願い想いながらまたくる春を楽しみにして……。



紅色、白色、桃色の3色の花を咲かせる花桃の樹

ふるさとのお菓子・冬の水ようかん

祖父江ひろみ 直江津出身

Facebookを通じて、今は奈良に住む直江津中学時代の同級生と数十年ぶりにメールのやり取りが始まりました。つい最近、彼から、「水ようかん」の話が舞い込んできました。友人曰く「子どものころより、水ようかんは冬に食べるものと思ってきたが、我がふるさとと福井県のごく一部の習慣らしい」と。それ以前に、私は「水ようかんは、冬のお菓子か、夏のお菓子か」と、近しい人々に聞いてみたことがありました。



「えっ、それは夏のものでしょうか」と、誰もが当然とばかりに即答。たしかにこの季節、どのお菓子屋さんをのぞいてもどこにも「水ようかん」は見当たりません。でも、違うんだよなあ〜。私にとっては、極限まで柔らかくゆるゆるに固められた冷たい水ようかんは、冬に炬燵で食べるものなのです。ああ、思い出しても懐かしい……

あつるんとしたのど越しと舌にわずかに残る塩味。経木に10本単位で包まれた小ぶりの水ようかんは、直江津っ子の冬の風物詩でした。TV番組「・・・ケンミンSHOW」ではないけれど、上越市といつてもどのあたりまで「直江津っ子の常識」が通用するのでしょうか。また、福井県との因縁はどうなっているのでしょうか。江戸時代、刀鍛冶の技術は福井より伝えられたと聞いていますが・・・それと一緒に？ 冬の水ようかんの、その由来は今後の私の課題といたしましょう。

参考：「地元菓子」若菜晃子著



荒川橋の夕日（直江津）

「上越市を語ろう」－皆様の手で上越市の魅力を発信

上越応援団たる会員の皆様にお願ひです。

当会HPでも会員以外の閲覧も多く、上越に関心や興味をお持ちの方は大勢おられます。ところが、上越は意外と知られていないのが現実です。

上越線の走る上越との混同もしばしば、ましてや、当上越市の面積が東京23区の1.5倍、上越・北陸の両新幹線が利用でき、東京から2時間の距離であること、歴史と豊かな文化、海と山に恵まれ、食事やお酒がとびっきり旨いことなどは、あまり知られていません。これでは、観光や産業の誘致、移住のお勧めもできません。

そこで、上越応援団たる会員の皆様にお願ひです。広宣の最も強力な手段「口コミ」を活用し、リモートを含むお集まりの際には、ひと言、上越についてふれていただき、上越の宣伝をしていただきたいのです。ふるさとのためによりしくお願ひいたします。

●●●●●●●●●● ネットからのお知らせとお願ひ ●●●●●●●●●●

ふるさとのおいしい味をご紹介ください。

お正月のゼンマイ入りのお雑煮、炬燵に入っていた冬の水ようかん、上越にしかない懐かしい味です。春にはタケノコ汁ですね。鮭缶を入れるのか、いや鯖缶か……。あなたの思い出に残るふるさとのごちそうを400字/件にまとめて是非ご紹介ください。材料やレシピがあればぜひ添えてご紹介ください。

記事、寄稿、投稿、メッセージをお願ひします。

会員の皆様には、ぜひとも、ご自分の経験や思い出、上越の魅力、上越に役立ちそうなこと、会員の親睦を深めることなど

なんでも結構ですので、記事（1,200字程度まで）と写真を送信いただければ幸いです。皆さまの貴重なお話は、読み手を元気にします。送信先：k.miyazato@araipt.co.jp



4月10日 ブルーインパルス展示飛行「ハート」

小坂恵美さん撮影

コロナ禍の折、皆様には、くれぐれもご健康にご留意され、お過ごしください。

◎次号「たより」は令和4年6月10日の発行です。